

こんにちは。25歳の かいでん 和弘 と申します。  
「目黒の未来に、無責任でありたくない」  
—この決意のもと、無所属・最年少で活動しております。  
本リーフレットに、自己紹介と自分の思いをまとめましたので、ご一読いただければ幸いです。  
ぜひお力添えくださいますよう、お願い申し上げます。

**北海道大学を卒業して地元である目黒に戻ってきてから**私は、行政計画の策定を行うコンサルティング会社に就職しました。  
担当したのは、神奈川県、静岡県、群馬県、新潟県など、東京から少し離れた地方の自治体。  
“地域のこれから”について、現地で役所や住民の方々と一緒に考えるなかで、数々の厳しい**現実**に遭遇しました。  
入学者数が30年前の4分の1に激減した**小学校**  
人影がなく、潰れた商店と傾いた看板が目立つ**駅前通り**  
若者が離れゆき、人口の半分が高齢者になった**町と村**

私が目にした**現実**は、目黒区に住む私たちにとっても全く他人事ではありません。

いずれ目黒区にも、高齢化、現役世代の人口減少と財政難により、**高負担・低福祉の厳しい時代**が訪れるでしょう。

それなのにそんな厳しい時代の目黒区を**支えていく当事者**となるはずの若い世代は多くの人が区政に関われていませんし、関わりようとしていません。

若者の区政に対する関心や投票率は低く、区議会議員36人の中に20代議員はゼロ。

果たして、これでいいのでしょうか。

20・30代の私たちが区政を白紙委任して、数十年後に中心世代としてバトンを渡されたとき、**自分たちの無関心の末**に行きついた未来に責任を持てるのでしょうか。

**少なくとも私は、そんな未来は望みません。**

**みんなの未来、若い世代も意思表示しましょう。**

**その思いから、私は動きます。**

**目黒の未来に、無責任でありたくない。**



目黒の未来に、  
無責任でありたくない!

かいでん 和弘  
田 改

無所属

大志を胸に、**25歳。**

趣味  
行動指針

チェロ演奏、剣道(2段)、野球観戦、水泳、歴史研究  
為せば成る 為さねば成らぬ 何事も成らぬは人の 為さぬなりけり

活動報告や考えたことを発信中です。友達申請や“いいね! ”、メッセージをお寄せください。



プロフィール

**1993年** 11月23日生まれ(3人きょうだいの長男)  
**2000年** 目黒区立原町小学校 入学  
• 原町学童保育クラブに3年間在籍。  
• 教室にあった『ジョン・F・ケネディ』(アメリカ大統領)の伝記を読み感動。彼の生涯を通しての“懸命さ”に憧れを抱き、その“最期”に涙する。  
**2006年** 都立桜修館中等教育学校(旧・都立大学附属高校) 入学  
• 目黒区八雲に新設された同校に1期生として入学。  
• 学校に隣接する八雲中央図書館で歴史小説(司馬遼太郎、宮城谷昌光など)を読み漁る。**古代中国の為政者たちの、潔い姿を見て、「政治家とはかくあるべし」と思いを致す。**  
• 自治会長を務め、桜修館の学校説明会や都立大学附属高校の閉校記念式典で演説。  
**卒業**

**2012年** 北海道大学 法学部 入学  
• 初代教頭・クラーク博士の「少年よ、大志を抱け」の言葉を胸に、法律と政治を学ぶ。  
• 大学オーケストラでチェロを演奏、楽団初の学生指揮者も務める。  
**2016年** まちづくりコンサルティング会社 就職  
• アンケート調査や住民座談会(ワークショップ)などを通して、**行政計画の策定**に携わる。(介護保険、子育て、障がい者福祉、健康増進、教育分野など)  
• **地方部から日本が活気を失っていく姿を見ながら、「もっと自分にできることはないのか」と自問自答。**  
**2018年** 「自分たちの未来に、無責任でありたくない」、その思いから意を決して退社し、政治活動を開始。

# 目黒区も、変わらないといけない。



## 目黒区の問題点 ①

### 次の世代へつながらない

#### 出生率

一人の女性が一生で出産する子どもの数

目黒区 **1.07人** (2017年)  
都平均 1.21人 国平均 1.43人

**2人の夫婦から1.07人の子どもでは、今の社会制度を維持できません。**

## 目黒区の問題点 ②

### 仕事と子育ての両立が困難

#### 待機児童

#### ワースト8位

**330人** (2018年) 全国1,741市区町村

保育施設に入れないと…  
育休の延長や退職を強いられることも  
キャリアか子どもかの二者択一。これでは  
子どもが欲しくても難しいのが現実。

**30年後、  
こう変わる**

(2018年推計)

#### 日本 人口減少

30年間で2,000万人減少

一方…

#### 目黒区 人口増加

30年間で2万人以上増加

0～4歳 維持→

5～19歳 増加↗

20～29歳 維持→

30～49歳 減少↘

50～59歳 増加↗のち減少↘

60歳～ 大幅増加↗

## 目黒区の問題点 ③

### 区政と若い世代との距離が遠い

#### 区政への関心

10代・20代は**3人に2人**が関心なし (2017年)

#### 区議選投票率

20代は**20.90%** (2015年)

#### めぐろ区報

10代・20代は**10人に1人**しか見ていない (2017年)

## 目黒区の問題点 ④

### 介護予防の取り組みが一層必要

#### 高齢者数

今後30年間で約**1万9千人**増加

#### 特別養護老人ホーム 待機者

**890人**(施設数が足りていません！)

できるだけ長く健康に暮らしていくための  
介護予防が必要です。

こんな

目黒

をつくりたい



## 若い世代も区政へ参画

### 「目黒の未来は自分たちでつくろう」

★「若者の声も聞いてください！」

- 「政治なんて私たちには関係ないよね」
- 「目黒区は一体、どんなことをやっているの？」

▶▶ 若者向けアンケート・座談会の実施

▶▶ 区立小・中学校での主権者教育

▶▶ 広報「めぐろ区報」の充実

## 子育て施策の充実

### 「次の世代はみんなで育てる」

★「子育てと仕事、両立させたい！」

- 「子どものインフルで会社を休まなきゃ…」
- 「保育園のお迎えに間に合わない！」

▶▶ 待機児童（保育園&学童）の解消

▶▶ インフルエンザワクチンへの補助

▶▶ ファミリー・サポート事業の拡充

## ご高齢の方の活動場所の充実

### 「手ごたえのある日々を、目黒区で」

★「まだ働けるのになぁ…」

- 「毎日家にいても張り合いがないなぁ」
- 「週3回プールに行きたいけど、高いなぁ」

▶▶ ポイント付きボランティアの推進

▶▶ 生涯学習・サークル活動の応援

▶▶ 区営スポーツ施設の継続利用割引

